

そっけん 息軒だより

三計の教え

あした
一日の計は朝にあり

一年の計は春にあり

しょうそう
一生の計は少壮の時にあり



令和6年度12・1月号(第47号)

発行 宮崎市安井息軒記念館
管理 NPO法人 安井息軒顕彰会
理事長 徳村光郎 館長 川口眞弘
〒889-1605

宮崎市清武町加納甲3378-1

TEL 0985-84-0234

FAX 0985-84-2634

e-mail sokken.yasui@pic.bbq.jp

<https://yasuisokken.jp>

QRコードを読み取ると、記念館のホームページがご覧になれます

令和6年度宮崎市安井息軒記念館 冬の企画展のお知らせ

令和6年度 宮崎市安井息軒記念館 冬の特別企画展

断断を以て
格別の改革を!!

無所属新人(226才・宮崎)
やすい息軒

—安井息軒の政策論—

2025年1月12日～3月23日

●会場 宮崎市安井息軒記念館 特別展示室
●開館時間 午前9時～午後4時30分(最終入館は午後4時)
●休館日 月曜日(祝日の場合は開館)・祝日の翌日(土日除く)
主催 宮崎市安井息軒記念館 NPO法人安井息軒顕彰会
〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納甲3378-1 TEL:0985-84-0234

無所属新人(226才)
やすい息軒

総じて学問は
輔民安世の
道に候ふ

やさしい息軒 プロフィール

- 本名 安井衛(やすいこう)。字は仲平。寛政11年(1799)1月1日、前記藩清武郡中野(宮崎市清武町中野)に生る。
- 父 安井道洲に庶跡を受け、大阪の藤崎小竹、江戸の吉原和庵、松崎傳堂に師事。高平塾学館所に入塾。
- 既記藩郷校明教塾助教、同藩校監徳富助教、佐藤藩藩校徳富塾塾長、高平塾学館所教授を歴任。三計塾を開き、後進育成に取り組む。
- 既記藩用人として論議に参府。幕政について水戸藩や老中の水野忠邦・小笠原康行の下問に応じる。現代官洋論。
- 著書に『管子類結』『左伝類釈』『論語集解』『弁要』『新書承流』『救急或問』『時務一隅』『息軒遺稿』ほか多数。

記念館講座のお知らせ

●講師 無所属新人 安井 息軒
安井息軒の政策論

●講師 宮崎大学特別准教授 青山 大介

●日時 令和7年2月8日(土)

●会場 宮崎市安井息軒記念館 研修室

本企画展の趣旨

安井息軒は宮崎が生んだ「日本一之儒者」[黄進達「讀書余瀛」]です。

儒者とは、研究者・教育者・政治家を兼ねた存在です。これまでに当館は息軒の研究家としての側面を令和4年度「明治の息軒」展で、教育者としての側面を令和5年度「息軒の娘」展でご紹介しました。今回、政治家としての側面を取り上げるにあたり、次のようなテーマを設定しました。

もし安井息軒が現代の選挙に立候補したら…

幕末維新期という先行き不透明な時代。藩や幕府の下問に応じた息軒の提言には、意外にも、現代社会が直面している問題に関わるものが多いものがあります。もちろん今の価値観にそぐわない表現もありますが、息軒の普遍的な問題意識から学べるものは少なくありません。

宮崎市安井息軒記念館

推薦人の言葉

宮崎学館所教授 孫川隆彦 堀谷 裕隆

息軒氏は小僧ですが、知識士として外れていて、普通の人には思いつかないアイデアを出してきます。数字にも関心。政策を論じればすべてメリット・デメリット、コスト・リターンを計算ができていて、現実的です。今の武士とは違います。[高安井仲平 策進序]

既記藩家老 平部 麟南

既記藩の二期作や良業は、息軒先生のおかげで始まったものです。 六興社日誌

明治政府で活躍した教え子たち

徳村 光郎 井上 毅
三好 温蔵 谷 十城

物価高騰対策 物価滞騰は止め難し。必用の品 国内に産して、他に求めずして足るよに心懸くべし

地域経済振興 邦内を調査せば、なほ伏利なきにあらざ

人口流出対策 男女とも早く婚せしむべし

共生社会推進 民・夷を一にして、之を教育す

貧困家庭支援 人民一人助かりても、莫大のご奉公

行政の簡素化 一害を除くは、一利を生むにしかず

息軒の公約

『時務一隅』 知樂社・大正7年刊 福知院寺に所蔵
息軒が文久2年(1862)に老中水野忠邦の下問に提出した藩政改革案。

『救急或問』 成卓堂、明治35年刊 慶応義塾大学蔵
息軒が安政の亂に、既記藩に提言した藩政改革案をまとめたものとする。

『上明山公書』 元治1年(1864)写 慶応義塾大学蔵
息軒が元治1年(1864)に建白中の老中水野忠邦の下問に提出した文書。

令和4年度「明治の息軒」展では研究者としての側面を、令和5年度「息軒の娘」展では教育者としての側面を紹介してきました。今回の展示では「もし安井息軒が現代の選挙に立候補したら」というテーマのもと、政治家としての側面を取り上げます。

安井息軒は「封建時代の儒者」というイメージがありますが、近代化の先駆けとしての息軒という位置づけをしたと考えています。提言をみていくと、現代社会の問題に通じるものがいくつもあります。当然、現在の価値観にそぐわない部分もありますが、息軒の問題意識から学べることは少なくありません。

本企画展では『救急或問』や『時務一隅』といった著書から、現代の問題と照らし合わせて「無所属新人」の安井息軒候補の公約という形で、「息軒の政策論」をみていきます。

今回企画展に合わせて慶応大学斯道文庫から『救急或問』と『時務一隅』、東京大学附属図書館から『安井仲平意見書』、東京都立大学附属図書館から『安井仲平之儀乍恐奉歎願候』の写真を撮影させていただきました。パネル等でご覧いただけます。

(文責 久保田)

安井息軒記念館講座 特色ある講座が次々と…

第3回・第5回 宮崎大学教授 山元宣宏先生:漢文構成の要素である漢字に関する2回講座



2024.10.19



2024.11.30

第4回 安井息軒顕彰会会員 諸岩則俊氏:「国際派のご意見番 安井息軒」



2024.11.9



第6回 宮崎産業経営大学教授 甲斐睦教先生:「明治イギリスの対日政策と小村外交」



日本外交史は 息軒の弟子・孫弟子の活躍の軌跡 🌈

幕末から明治初頭の儒宗(儒学者の首座にある学者)安井息軒は、幅広い交友関係もあり、幕閣や洋学者の佐久間象山等とも交流がありました。また息軒の弟子の中には幕府が洋学教授および洋書・外交文書の翻訳などのために設けた**蕃書調所**の弟子もたくさんいました。明治になってからは、現役の藩主や官僚たちもたくさんの三計塾の門をたたきました。それは息軒が儒家や法家思想、そして海外の事情や洋学にも精通していたからです。息軒は老中などに向けた外交の指南書もたくさん書いています。

企画展開催に向けて、外務省の外交史料館を訪問してきました。そこでは息軒の弟子である陸奥宗光や、息軒の弟子小倉処平の弟子である小村寿太郎の業績が**燦然**と輝いていて、改めて日本を近代的な法治国家へと導いた知の巨人、安井息軒の凄さを感じました。なお、ポーツマス条約の批准書及びロシア側の批准書等の貴重史料は、時を同じくして日南市の小村寿太郎記念館と共催で特別展示があり、11月**飢肥**でも見ることができました。(文責 川口)



ポーツマス条約批准書

寿太郎直筆のサインも



外務省外交史料館



ポーツマス条約ロシア側批准書

🌈 時代は生涯学習の時代 老いも若きも息軒を学び、息軒に学ぶ 🌈

～ 埼玉県川口市の東領家小学校から Zoom を利用した授業の申し込みが 🍀 ✨ ～

幕末から維新期にかけて息軒は、弟子たちの強い勧めもあって、9 か月間足立郡領家村(今の埼玉県川口市東領家)に疎開します。以来時を経て、現在でも交流が続き、近年では宮崎市と川口市の 6 年生が相互訪問をしていました。しかし、コロナの影響で川口市からは派遣中止。寂しく思っていたのですが、その東領家小学校から出前授業の申し込みがあり、Zoom を使って授業をしました。そして 10 月末には館長・学芸員が同校を訪問。交流を深めました。Zoom を使えば代表児童だけでなくすべての児童に居ながらにして授業が可能です。もちろん宮崎県内の学校でも。🍀 ✨ (川口)



東領家小訪問

2024.10.30

2024.10.11



11.8 学園木花台小学校

息軒について学ぶ小学生
清武町域だけでなく、大宮小、西池小、江南小、学園木花台小などたくさんの小学生が来館。当館は宮崎市近辺で偉人についてトータルで学べる記念館です。



11.12 江南小学校



11.13 西池小学校



11.22 清武小学校



11.26 大宮小学校



10.18 スイトピークラブ

息軒に学ぶ大学生・成人
当館にはたくさんの大学生や成人、高齢者、ボランティア等のグループの方々が来館され、日本を近代的な法治国家に導いた知の巨人の業績について学んでいます。



11.12 宮崎公立大学



11.14.19.21 宮崎学園短期大学



11.24 飢肥ボランティア



11.28 神話ボランティア

東京大学 安田洋教授がご来館 ✨ 🍀

11月23日(土)、日南饒肥の小村寿太郎記念館で行われた講演会に参加。前述の外務省外交史料館との共催による特別展示に関連して外務省外交史料館室長、冨塚一彦氏による講演でした。そこで偶然日南市の国際交流員、アメリカ人のホセさんと出逢いました。ホセさんは長期に渡る中国留学経験があり、儒学にはとても詳しい若者です。そこで明日日曜日、安井息軒記念館の前学芸員青山大介氏も来館予定なので、よければ来ませんかと声掛け。翌日ホセさんが来館。青山氏を紹介し、二人は儒学の話で盛り上がっていました。



そこに研究者風の方がご来館。東京から見えたとのこと、儒学や安井息軒に興味がおありですかとお尋ねすると一応漢文をやっているものですからとの回答。よろしければ所属等をお尋ねしたら、東京大学とのお応え。お名前は中国文学や漢文がご専門の谷口洋教授。あわてて自己紹介をし、そこに居合わせたホセさん、そして青山前学芸員を紹介しました。その後は、当然ながら儒学や息軒のことで3人、おおいに盛り上がっていました。このように当館にはさまざまな研究者もひょっこり訪ねてみえます。没後150年近くたった今でも… 息軒の威光は輝き続けています。

🚗 安井息軒記念館バスツアーで高鍋を訪問 🚗

12月8日(日)、毎年恒例のバスツアーを実施しました。

今回は、あの有名な上杉鷹山を輩出した高鍋藩の歴史を学びました。

高鍋藩は、幕末から明治にかけては秋月種樹や三好退蔵など息軒との関りも深く、それらの人物を絡めて、史跡を巡りました。当初は、リニューアルオープンする資料館を見学する予定でしたがオープン日が延期となったため、代わりに、城址見学の後高鍋史友会の会長石川正樹氏に高鍋の歴史の講話をしていただきました。7代藩主秋月種茂が名君といわれる所以の様々な改革、そして高鍋の三傑の一人と言われる三好退蔵や秋月家11代当主である種樹と安井息軒とのつながりなども紹介していただきました。

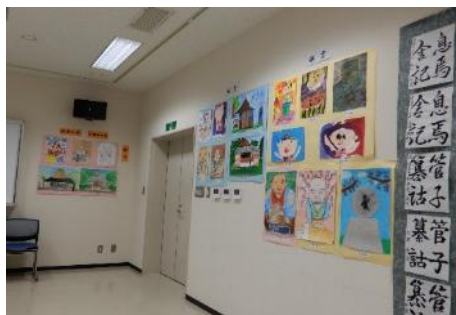
午後からは、高鍋町ボランティアガイドの会の白山氏に大龍寺跡秋月墓地を案内していただきました。140段程のかなりきつい石段を登り切ると、正面に種樹の墓が鎮座していました。

その後黒水家住宅を見学しました。ここには藩の勅蔵が移築されており、西南戦争の際、薩摩軍に加わることに反対した穏健派9人の藩士が投獄された建物です。天候にも恵まれとても和やかなバスツアーでした。(文責 長野)



安井息軒顕彰夏休み作品コンクール表彰式を実施 🌈

本年度も書道・絵画の部は小学生から成人まで、似顔絵・自由研究は幼児から小学6年生までを対象に上記のコンクールを実施しました。今年も書道の部総数860点、似顔絵の部35点、絵画の部10点、自由研究の部7点、計911点の応募がありました。その中から厳正な審査を実施したうえで10月27日当館で表彰式を挙行了しました。表彰式は部門別・賞別に開催し、沢山の受賞者そして家族でにぎわいました。(文責 川口)



12月～3月までの講座・イベントのご案内 (詳細はHP)

第8回安井息軒記念館講座

「無所属新人安井息軒 226歳」

～ 息軒の政策論 ～

7年2月8日(土) 10:30～11:45

前記念館学芸員 青山 大介

安井息軒記念館 久保田千仁

川口 眞弘

息軒ふるさとウォーク

～清武城跡周辺の史跡を歩く～

～息軒が学問の基礎を築いた中山

寺のクリーンアップもします。

7年3月2日(日) 9時～12時

集合・解散 加納小学校

みんなごぞつてご参加を!!

安井息軒顕彰俳句コンクール

主題：梅、小鳥、息軒、旧宅…

対称：小学生～成人 表彰：3月9日

募集 1月10日～2月12日

呈茶

梅の花咲く香梅庵でお茶を…当館

利用のお茶のメンバーに依頼して

2月1日～9日 13時～15時